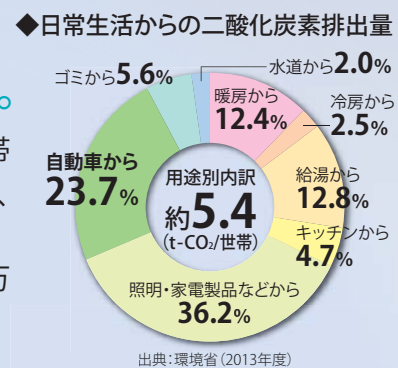


日常生活から排出される 二酸化炭素 (CO₂) の24%がクルマから。

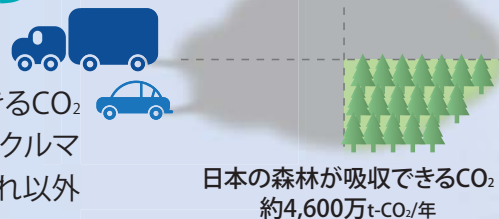
地球温暖化の最大の原因とされるCO₂は、日常生活からは一世帯あたり年間で約5.4トン排出され、そのうち約1/4 (約1.3トン) は、クルマから排出されています。

日本全国のクルマは約8,000万台あり、一年間に約1億9,300万トンものCO₂が排出されています。



あなたのクルマが排出するCO₂のうち 森林が吸収できるのは1/4だけ。

日本の国土の約7割が森林であり、日本の森林が吸収できるCO₂は一年間に約4,600万トンです。しかし、それは、日本全国のクルマが排出するCO₂約1億9,300万トンの1/4にすぎません。それ以外のCO₂は大気中に残り、地球温暖化の原因となっています。



エコドライブでCO₂も30%削減！

みんなでエコドライブを心掛け、地球温暖化を防ぎましょう。エコドライブをすれば燃料消費だけでなく、CO₂も30%削減できます。エコドライブはエコノミーでエコロジー。そして安全運転です。

エコドライブすれば...

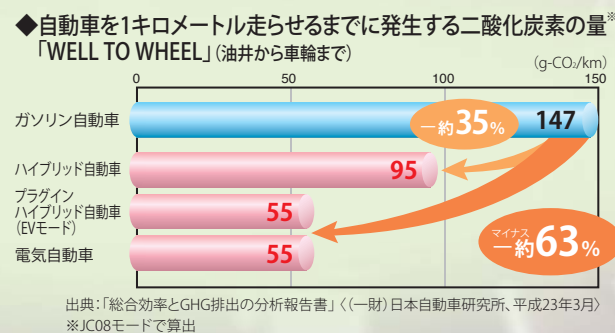
230g-CO₂/km*

161g-CO₂/km*

※一般道約60kmを乗用車で走行した実測値で算出

エコカーにすればさらにCO₂削減、減税なども受けられお得。

通常のガソリン自動車と比較すると、ハイブリッド自動車では約35%、プラグインハイブリッド自動車や電気自動車では約63%のCO₂を削減できます。エコカー減税などの優遇措置もあります。



エコドライブで いこう！



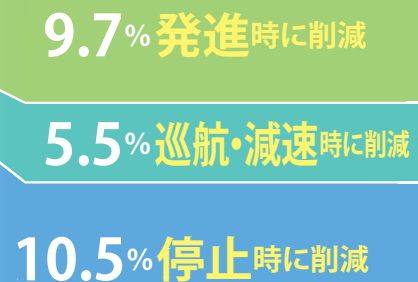
エコドライブは、
環境にやさしくて、経済的。
ちょっとした運転のしかたで、
燃料消費もCO₂も減らせます。
もちろん、安全運転で！



やってみよう、エコドライブ!めざそう、30%の燃料消費削減!!

クルマは、発進、巡航・減速、停止を繰り返しながら、走行しています。
通常の運転※では、1kmを走行する間に消費する燃料は98.9ccですが、エコドライブをすると25.7%も削減されます。

削減される燃料消費量の内訳



通常の運転※
98.9cc/km

25.7%削減可能

エコドライブ
73.5cc/km

※(一財)省エネルギーセンター調べ 一般道約60kmを乗用車で走行した実測値

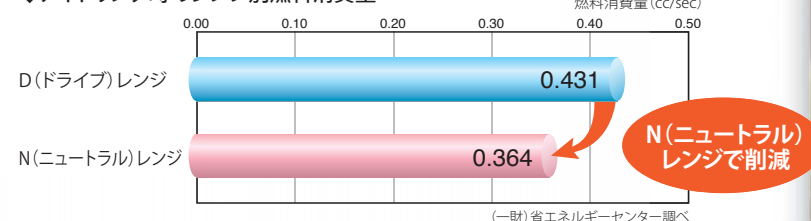
停止 アイドリングストップで10.5%のエコ

燃料消費の約15%は駐停車時のアイドリングによるものです。
アイドリングストップをすることで、燃料消費全体の10.5%を削減できます。

<駐停車時のアイドリングはやめよう>

客待ちや荷物の積み下ろしの際は、
エンジンを止めましょう。
人の乗り降りやちょっと長めの信号停止の際は、
N(ニュートラル)レンジに切り替えましょう。

◆アイドリング時のレンジ別燃料消費量



体験 エコドライブ

愛知県では、企業の業務ドライバーなどを対象に、
エコドライブ講習会を開催しています。
これまで約400人が参加。
最大で45%の燃料消費削減を達成した方もいます。



発進 ふんわりアクセルで9.7%のエコ

燃料消費の約35%は発進の際に使われています。
急な発進をやめて、ふんわりおだやかにアクセルを踏むだけで、
燃料消費全体の9.7%を削減できます。
AT車の場合、ブレーキから足を離すだけで
クルマは動き出し、“ふんわり発進”ができます。

<タイヤの空気圧をチェックしよう>

タイヤの空気圧が0.5kg/cm²不足しただけで、燃料消費は市街地で2.5%、郊外で4.3%も増加します。

<不要な荷物はおろそう>

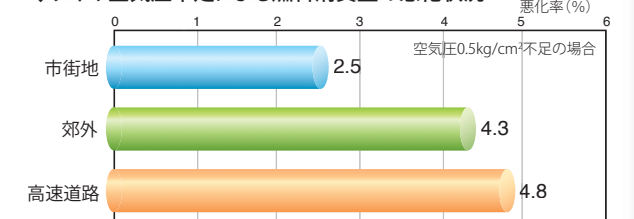
例えば110kgの荷物が増えると、燃料消費は3.4%増加します。

<出発前に最適経路をチェックしよう>

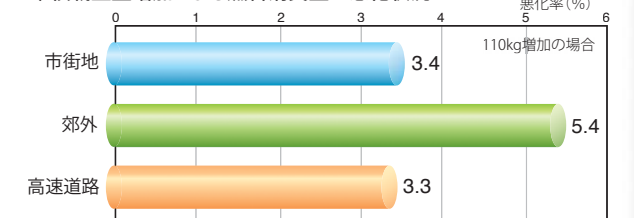
行き先や経路をあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。1時間のドライブで10分間余計に走行すると燃料消費は約17%増加します。



◆タイヤ空気圧不足による燃料消費量の悪化状況



◆積載重量増加による燃料消費量の悪化状況



巡航・減速 ゆったり運転で5.5%のエコ

燃料消費の約半分は巡航・減速時に使われています。
一定の速度を維持し、急加速や急減速を避けるだけで燃料消費全体の3.4%を削減できます。
さらに急ブレーキで停止しないよう、早めのアクセルオフで2.1%を削減できます。



◆エアコンの使い方による燃料消費量の悪化状況

